令 和 5（2023）年 度
全 国 公 共 図 書 館 研 究 集 会
（児童・青少年部門）
報 告 書

目　　次

（資料1）令和５年度 全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）
兼 関東地区公共図書館協議会　運営研究会、
信州発・これからの図書館フォーラム、これからの公共図書館研究会 開催要項 1

（資料2）令和５年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）
長野県内公共図書館　図書館見学先一覧 9

1　実施報告..... 13

2　アンケート集計結果　（回答人数：205 人）..... 14

令和５年度
全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）
兼
関東地区公共図書館協議会　運営研究会、
信州発・これからの図書館フォーラム、これからの公共図書館研究会
開催要項

研究主題 『児童・青少年と共にある本・情報・人の広場　―図書館から世界の窓を開こう―』

１　趣　旨

　これまで多様な人々がさまざまな立場で、本の素晴らしさ、読書の持つ力や楽しみを伝える活動を継続してきました。コロナ禍をきっかけとしたデジタル化の進展を背景として、「学び」や「読書」の変容、人と人とが直接つながる難しさに悩みながらも、この社会変革を一つのチャンスととらえ、子どもたちと共に可能性を模索してきました。

　今回の研究集会は、全国の多様な人々が集い、これまで培われてきた研究や実践を共有し、未来につなげる場にしたいと思います。本・情報・人の広場である図書館から、どんな窓を開くことができるのか・・・何よりも児童・青少年にとっての「楽しさ」を大切に、新たな可能性を探り、実践につなげていきましょう。

２　主　催

公益社団法人日本図書館協会
関東地区公共図書館協議会
長野県図書館協会 令和５年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）実行委員会

３　主　管

県立長野図書館

４　後　援

長野県教育委員会

５　期　日

令和５年 12 月 14 日（木）～15 日（金）

６　会　場

ホクト文化ホール　小ホール（メイン会場）（分科会会場）
　　〒380-0928　長野県長野市若里 1-1-3
県立長野図書館（分科会会場）
　　〒380-0928　長野県長野市若里 1-1-4

7　対象者

全国の図書館、学校関係者、本に関わる活動をしている方等、どなたでもご参加いただけます

8　日　程

（１日目）

12:00　13:00　13:10　　15:00　15:15　17:00　18:00

受付	開会	基調講演	休憩	事例発表×３	終了	情報交換会

（2 日目）

9:00　9:30　　11:00　11:20　11:30　12:00　　13:00　14:00～

受付	分科会×３	まとめ	閉会	終了	図書館見学（希望者）	
					県立長野図書館	（別紙参照）県内公共図書館

9　配信について

・ 14 日（木）:申込み者限定で、基調講演・事例発表のリアルタイム配信（YouTube）を行います。

・ 15 日（金）:分科会（3 会場）は、現地参加のみとなります。分科会終了後、3 会場をオン ラインでつないでまとめを行います。現地参加者以外の方へのリアルタイム配信（YouTube）は予定していません。

※　通信環境等によって、映像や音声等に乱れが生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

10　内　容

（１）基調講演「どうしたら図書館に子どもは来てくれるか？」

杉山　亮（児童書作家）

基調講演には杉山亮氏をお迎えします。杉山亮氏は児童書作家やストーリーテラーとしてご活躍の他、保父、おもちゃ作家のご経験があり、現在もワークショップやものがたりライブ等を開催しながら、子どもたちが楽しむ空間をつくり続けておられます。

多くのご経験の中で感じていることや、子どもたちの姿をお話しいただき、子どもたちが「図書館から世界の窓を開く」ために、私たちがそれぞれの立場でできることを改めて考え、学ぶ機会にしたいと思います。

杉山さんからいただいたメッセージです。

「図書館は来てくれた子どもにはさまざまなサービスができるところです。でも実際には図書館に来ない子の方がはるかに多いはずです。来ないことを嘆くのは簡単ですが、子どもが来ない図書館に未来はありません。

この講演ではまず、私たちが子ども達に図書館に来てもらいたい理由を再確認し、その上でどうしたら子ども達が図書館に来たくなるかを具体的に考えようと思います。お楽しみに」

（２）事例発表

１「公共図書館による学校・教員・子どもへの支援」

庭井　史絵（青山学院大学　教育人間科学部教育学科、准教授）

２「新・学校図書館像　～学校図書館の捉えなおし～」

宮澤　優子（高森町立高森北小学校・学校司書／高森町子ども読書支援センター）

３「地域をつなぐ図書館（学校・美術館との連携）」

棟田　聖子（松川村図書館　館長）

（３）分科会

各会場に分かれ、分科会を行います。1 日目の基調講演及び事例発表の内容を基に、より深く、テーマを追求し研究する時間とします。

１　第一分科会：学校と一緒に「学ぶ」の窓を開く

＜座長＞　庭井　史絵

＜登壇者＞「国語の授業で図書館の資料・サービスを活用するには　～アイデアと不安～」

米山　直実（長野県木曽青峰高等学校）

＜内容＞

学習指導要領や教科書には、図書、新聞記事、地図、統計、郷土資料、外国語資料写真、パンフレットなど、紙／デジタルを問わず、さまざまな情報源（資料）が登場し、これらは、教室・学校内外の学びで活用される可能性がある。

どんな資料があれば、どんな学びが生まれるのか、資料を生かした授業を実践している教員の試行錯誤を聞きながら、学校図書館や公共図書館による支援のあり方について考える。

２　第二分科会：デジタルと一緒に「調べる」の窓を開く

＜座長＞　宮澤　優子

＜内容＞

学校図書館を語るとき、それぞれが思い描く学校図書館は、それぞれが経験してきた学校図書館であって、それぞれが違うものを見ている。

では、未来を生きる子どもたちを育むための学校図書館の姿とはいったいどのようなものだろうか？そういう学校図書館を実現するために、公共図書館は何ができるのだろうか？

特にデジタルを活用した、GIGA スクール時代の学びの現場を知り、次の一歩につなげる場としたい。

３　第三分科会：本を楽しむ環境を整える私たちで一緒に「読む」の窓を開く
＜座長＞　棟田　聖子
＜登壇者＞「学校図書館をはじめ、教育現場における古本の活用事例報告。
民間古書店と、“学校”と“本”のこれからを考える。」
中村　聖徳　・　西山　卓郎（株式会社バリューブックス）

＜内容＞

これまで子どもたちと本をつなぐ活動には、図書館・公民館図書室・学校図書館・書店・美術館・博物館・ボランティア等々の様々な立場の人たちが携わってきた。それぞれの子どもたちに「読む」きっかけとなった場所がある。

今回は書店の事例にスポットを当て、図書館や学校等と書店の連携・共存について考える。今そして未来を生きる子どもたちと、本をつなぐ契機や可能性について探る。

■　講師紹介

【杉山　亮（すぎやま　あきら）】

1954 年東京生まれ。元保父・元おもちゃ作家。現在は児童書作家兼ストーリーテラー。主な著書に「ミルキー杉山のあなたも名探偵シリーズ」偕成社「青空晴之助」「朝の連続小説」「児童書作家の思いつき」仮説社「子どものことを子どもにきく」「子どもをおいて旅にでた」ちくま文庫などがある。

またストーリーテラーとして全国の図書館・小学校でものがたりライブを開催している。八ヶ岳の高原の山梨県小淵沢町に在住。

【庭井　史絵】（青山学院大学　教育人間科学部教育学科、准教授）

公立小学校、甲南高等学校・中学校の学校司書を経て、慶應義塾普通部専任司書教諭。18 年間中学校図書館の運営と教育を担う。2019 年より現職。放送大学客員准教授。国際図書館連盟（IFLA）School Library Section 委員。

近著に『学習指導と学校図書館』（放送大学教育振興会）、『ICT 活用の理論と実践－DX 時代の教師を目指して』（北大路書房）など。2020 年より御代田町在住。

【宮澤　優子】（高森町立高森北小学校・学校司書／高森町子ども読書支援センター）

高森北小学校・高森町子ども読書支援センター：司書。Google 認定教育者 Lev. 1・2 および GEG Minami Shinshu 共同リーダーとして、学校および町内・地域の ICT 教育をサポート。

日本デジタルシティズンシップ教育研究会専門委員。教育著作権フォーラム初中等ワーキンググループメンバー。

【棟田　聖子】（松川村図書館　館長）

松川村図書館長。1984 年松川中学校司書としてキャリアスタート。その後、松川村公民館図書室・小中学校図書館勤務を経て 2009 年より現職。第 6 期絵本専門士。松本大学非常勤講師。

■ **登壇者紹介**

【米山　直実】　（長野県木曽青峰高等学校）

長野県木曽青峰高等学校国語科教諭（教員歴 5 年目）。少しでも楽しく知的好奇心を持ってもらえるような授業のために、図書館を活用できたらと思い、授業づくりに取り組んでいます。

【中村　聖徳】（株式会社バリューブックス）

株式会社バリューブックスにて、本を寄贈する活動「BOOKGIFT」や移動本屋「BOOKBUS」などの事業を担当。第 7 期絵本専門士。PA エンジニア。

【西山　卓郎】（株式会社バリューブックス）

バリューブックスにて本で寄付するサービス「charibon」を担当。その他、県立長野図書館協議委員、上田市内の NPO の理事などを行いながら、本や学び、体験について営利・非営利色々な角度で悩みながら動いています。

11　図書館見学

・ 研究集会終了後、図書館見学を行います。（希望者のみ）
・ 別紙で紹介する図書館では、館内見学の際に職員による説明を行います。
・ 別紙で詳細をご確認いただき、申込フォームからお申込みください。

（参考）「長野県内公共図書館リンク集」　（※所在地等の詳細をご確認ください。）

https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/alliance/lib/links_kokyo.html

12　参加費

無料

13　情報交換会

参加者の交流を目的とした情報交換会を開催します。

・ 日時：12 月 14 日（木）18 時から
・ 会費：5,000 円　（会費は情報交換会会場受付でお支払いください。）
・ 会場：欅屋　びくら（長野市末広町 1355-5　ウエストプラザ長野 10 階）

14　参加申込み

以下をご希望の方は、全てお申込みをお願いします。

・ 現地会場で参加
　※　ご希望の分科会をご選択ください。（第 1 希望・第 2 希望）
　　分科会の人数によっては、第 2 希望になる場合があります。あらかじめご了承ください。
・ リアルタイム配信（YouTube）の視聴　※12 月 14 日（木）のみ
・ 図書館見学（職員による館内案内有り）

（１）申込期間

令和５年９月 15 日（金）～令和５年 10 月 31 日(火)

・ 申込みフォームからお申込みください。
・ 本研究集会は、会場でご参加いただくことを前提としたプログラム内容となっていますが、14（木）のみリアルタイムでオンライン配信（YouTube）を行います。
・ オンライン配信は申込者限定の配信です。必ず申込みフォームからお申込みください。
・ 新型コロナウイルス感染拡大状況等によっては、オンライン開催に変更になる場合があります。なお、オンライン開催に変更する場合は、日本図書館協会ホームページ及び県立長野図書館ホームページに掲載します。
・ 会場の定員を超える場合は、お断りすることがございますのでご了承願います。
・ 手話通訳・要約筆記が必要な方、その他配慮が必要な方は、お申込み時にお知らせください。

（２）申込方法

■ 下記申込みフォームからお申込みください。
URL：~~https://forms.office.com/r/nHa96etPNJ~~

申込みフォーム QR コード

※ 電話 ・ FAX では受付できません。
※ 申込みフォームが利用できない場合は、事務局までメールでご相談ください。

（３）宿泊

宿泊については、各自で直接お申込みください。
※（公財）ながの観光コンベンションビューローの支援を受け開催します。下記に長野市内のホテル・旅館の案内（URL）が掲載されています。ぜひ市内宿泊施設をご活用ください。
※「宿泊施設のご案内」（「ながの観光コンベンションビューロー」ホームページ）
https://convention.naganocvb.or.jp/modules/convention/accommo

15 資料について

印刷した資料の事前配布・当日配布は行ないません。
※ 公開可能な資料を事前に県立図書館ホームページに公開します（準備が出来次第公開予定）
※ 必要な方は各自で印刷をして、当日ご持参ください。

16 その他

この研究集会は下記の研修を兼ねています。

・ 令和５年度関東地区公共図書館協議会　運営研究会
（関東地区公共図書館協議会主催）

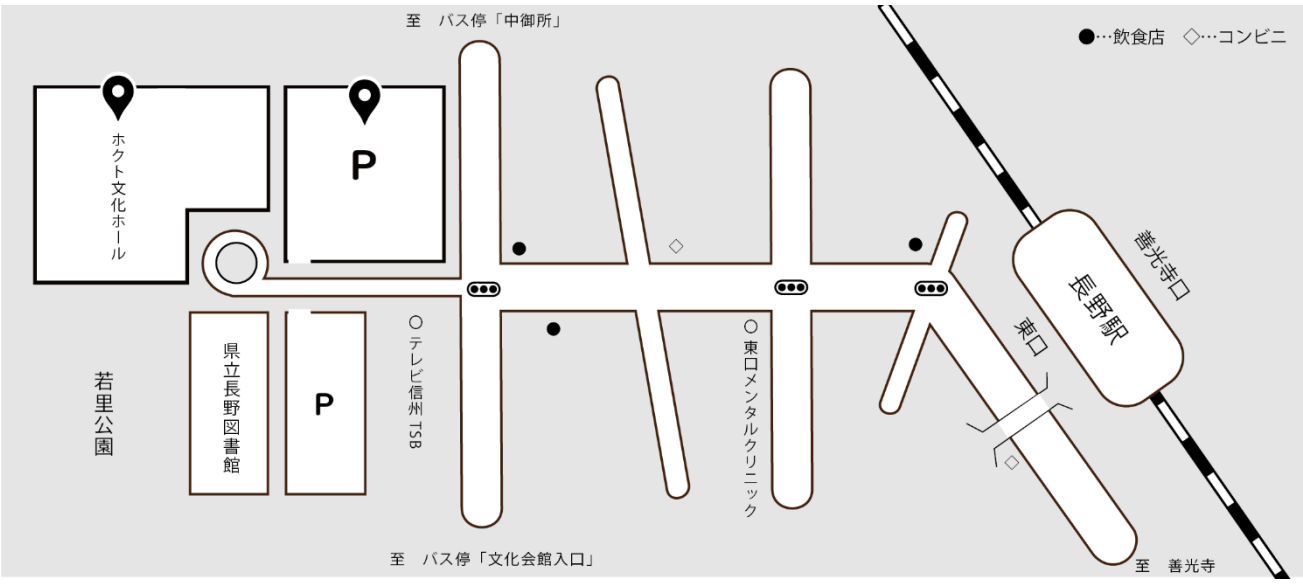
・ 令和５年度信州発・これからの図書館フォーラム
（県立長野図書館主催）

・ 令和５年度長野県図書館協会　これからの公共図書館研究会
（長野県図書館協会主催）

17 問合せ先

長野県図書館協会　令和５年度全国公共図書館研究集会
（児童・青少年部門）実行委員会事務局
〒380-0928　長野県長野市若里 1-1-4（県立長野図書館内）
TEL：026-228-4939　　E-mail：ken-tosho@library.pref.nagano.jp

18 会場案内



- **電車**

JR 長野駅東口より**徒歩約 10 分**
※バスを利用した場合の徒歩距離はあまり変わりません。長野駅からの徒歩・タクシーをおすすめします。

- **バス**

JR 長野駅東口のりばから
21 番乗り場から日赤線、「文化会館入口（長野県）」下車（図書館まで徒歩約 5 分）
JR 長野駅善光寺口のりばから
2 番乗り場から日赤線、犀北団地線、「中御所」下車（図書館まで徒歩約 5 分）

- **車をご利用の方**

【ホクト文化ホール】 駐車場台数：約 210 台　（車椅子専用：5 台　パーキングパーミット：5 台）
【県立長野図書館】 駐車台数：80 台（うち障がい者等用 3 台）
※　原則、ホクト文化ホール駐車場のご利用をお願いします。（県立長野図書館駐車場は、一般の利用者が使用します。）

上信越自動車道　長野 I.C.から約 20 分
国道 117 号線　ホクト文化ホール入口交差点から東へ約 600m
国道 18 号線　上千田交差点を西へ約 1000m、長野赤十字病院前交差点を北へ約 900m、ホクト文化ホール東交差点から西へ約 400m

※　駐車場には限りがあります。できる限り、公共交通機関のご利用をお願いします。

令和５年度全国公共図書館研究集会（児童･青少年部門）

長野県内公共図書館　図書館見学先一覧

長野県内では、市町村立図書館が多岐に渡る多彩な取組みをしています。
今回は下記の図書館において、職員が説明を行いながら、各館の館内見学を実施します。
長野県にご来訪いただくこの機会に、ぜひ各館の取組みをご覧ください！
（各館の取組みや所在地等の情報は、下記及び各館ホームページをご参照ください。）

- 申込みフォームからお申込みください。
- ご案内を希望の場合は、必ず集合時間に集合場所までお集まりください。
- 下記でご案内する時間帯以外で見学をされる場合は、自由見学とさせていただきます。開館時間等にご留意ください。
- 申込みに関する事務等は、下記に記載の実行委員会事務局が行います。特別な事情（当日の交通事情等による遅れ等）を除き、見学のお申込みに関する問合せは実行委員会事務局までお願いします。

■　東信エリア

軽井沢町立図書館（中軽井沢図書館）

日時：①12 月 15 日（金）　始 14：30　終 15：30（予定）
　　②12 月 16 日（土）　始 10：00　終 11：00（予定）
場所：くつかけテラス中軽井沢図書館 2 階　多目的室

図書館基本情報
所　　在　　地：〒389-0111　長野県北佐久郡軽井沢町長倉 3037 番地 18
開　館　時　間：平日 9：30-19：00　土日祝 9：30-19：00
H　　P：https://www.library-karuizawa.jp
ＰＲ ポイント ：中軽井沢駅（しなの鉄道）併設図書館。

（資料２）

■南信エリア

飯田市立中央図書館（飯田駅前分室）

日時：③12 月 15 日（金）　始 15：30　終 17：00（予定）
　　④12 月 16 日（土）　始 10：30　終 12：00（予定）
場所：飯田駅前分室

図書館基本情報
所　　在　　地：〒395-0086　飯田市東和町 2 丁目 35 番地　丘の上結いスクエア 3 階
開　館　時　間：平日 8：30-22：00（職員在中　15：00-20：00　祝日は不在）
　　土日 8：30-22：00（職員在中　10：00-18：00）
H　　P：https://www.iida.nanshin-lib.jp
ＰＲ　ポイント：高校生をメインターゲットとした飯田市立中央図書館のサテライト施設。
　　テーマで本を並べ、本を通した交流の場を定期的に企画することで、
　　様々な本と出合い、新たな発見や挑戦につなげる取組を進めている。

備　　考：民間施設「丘の上結いスクエア」の２・３階に、飯田市公民館機能、
　　図書館機能、平和学習機能、多文化共生推進機能などを備え、
　　市民が自分からやってみようという「ムトス」の精神の活動を支援する拠点
　　「ムトスぷらざ」を設置。飯田駅前分室はその公共空間の中のひとつ。

■　中信エリア

安曇野市中央図書館

日時：⑤12 月 16 日（土）　始 14：00　終 15：00（予定）
場所：安曇野市穂高交流学習センター「みらい」ロビー
　　（中央図書館はセンター内にあります）

図書館基本情報
所　　在　　地：〒399-8303　安曇野市穂高 6765 番地 2
開　館　時　間：平日 9：00-20：00　土日祝 9：00-18：00
H　　P：https://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho
ＰＲ　ポイント：当市は平成 17 年 10 月に５つの町村合併により誕生。
　　当館は平成 21 年９月に開設され、現在の蔵書は約 22 万冊（うち開架
　　14.5 万冊）です。市内にはその他４館の公共図書館を有します。
　　午前中はイベントがあるため、対応ができません。

塩尻市立図書館

日時：⑥12 月 15 日（金）　始 14：30　終 16：00（予定）
　　⑦12 月 16 日（土）　始 10：30　終 12：00（予定）
場所：塩尻市市民交流センターえんぱーく 1 階　水のコート
　　※１階正面入口を入って右手の吹き抜け

図書館基本情報
所　　在　　地：〒399-0736　　塩尻市大門一番町 12 番 2 号
開　館　時　間：平日 10：00-20：00　土 9：30-20：00　日祝 9：30-18：00
　　※児童コーナーは平日・土日祝共に　9：00-
H　　P：https://www.library-shiojiri.jp
ＰＲ ポイント：市民交流センターえんぱーくは、「知恵の交流を通じた人づくりの場」を基本コンセプトに、図書館、子育て支援・青少年交流、ビジネス支援、シニア活動支援、市民活動支援機能を融合した複合施設として 2010 年に開館。
えんぱーくの中核を担う図書館は、「Library of the Year 2015」優秀賞、「地方創生レファレンス大賞 2017」審査会特別賞、「同 2018」奨励賞受賞などの評価を信頼につなげ、多くの来館者を迎えている。
重点事業「信州しおじり本の寺子屋」は、「本の可能性を考える」をテーマに講演会・企画展を開催し 12 年目を迎えている。

松川村図書館

日時：⑧12 月 15 日（金）　始 15：00　終 17：00（予定）
　　⑨12 月 16 日（土）　始 10：00　終 12：00（予定）
場所：松川村多目的交流センターすずの音ホール　エントランス

図書館基本情報
所　　在　　地：〒399-8501　　北安曇郡松川村 84 番地 1
開　館　時　間：平日 9：00-19:00　土日祝 9：00-17：00
H　　P：http://www.matsukawavill-lib.annexis.jp
ＰＲ ポイント：児童書中心の選書・館内装飾・混架・似顔絵による著者サインなど

■ 北信エリア

長野市立長野図書館

日時：⑩12 月 15 日（金） 始 14：00 終 15：00（予定）
⑪12 月 15 日（金） 始 15：00 終 16：00（予定）
場所：市立長野図書館 3 階講義室 ⑩13：55 ⑪14：55

図書館基本情報
所　在　地：〒380-0843　長野市大字長野長門町 1097 番地 3
開 館 時 間：平日 9：45-19:00 土日祝 9：45-18：00
※開館時間中は、ご自由にご見学ください。
H　P：https://library.nagano-ngn.ed.jp/index.php
PR ポイント　：善光寺に近い図書館です。（徒歩 10 分程度）
障害者ライブラリーがあり、長野市及び長野県北信地域在住の視覚障害者の方を対象にしたサービスに力を入れています。

備　考：駐車場が少ないため、図書館駐車場の利用はご遠慮ください。
（公共交通機関や、付近の有料駐車場をご利用ください。）

県立長野図書館

日時：⑫12 月 15 日（金） 始 12：00 終 13：00（予定）
⑬12 月 16 日（土） 始 10：30 終 11：30（予定）
場所：1F ロビー

図書館基本情報
所　在　地：〒380-0928　長野市若里 1 丁目 1 番地 4
開 館 時 間：平日 9：00-19:00 土日祝 9：00-17：00
※児童図書室は平日・土日祝共に 9：00-17：00
H　P：https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
PR ポイント　：共に知り、共に創る―「共知・共創の広場」を目指し、児童図書室では「体験、発見、やってみ！？」をコンセプトに、体験の貸出等を行っている。
また、これからの図書館や公共空間のあり方を考える実験室とした「信州・学び創造ラボ」等がある。

問合せ先：
長野県図書館協会 令和５年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）実行委員会事務局（県立長野図書館内）
TEL：026-228-4939 E-mail：ken-tosho@library.pref.nagano.jp

1　実施報告

1．参加者数について

延べ 587 名

（14 日：110 名、15 日：96 名、オンライン申込：381 名）※講師、実行委員は含まない

メイン会場

ポスター

第一分科会

第二分科会

第三分科会

2．資料について

・ 各自でダウンロード及び印刷を行い、必要な方は当日持参いただいた。
（※申込者のみ、事前に URL をメールで通知）

3．図書館見学について

・ 研究集会終了後、県内公共図書館の図書館見学を行った。（希望者のみ、各自で移動）
見学申込者数（総計）：88 名

図書館見学

会場展示等

2　アンケート集計結果　（回答人数：205 人）

Q1　参加した日を教えてください。

12 月 14 日のみ …… 138
12 月 15 日のみ …… 2
12 月 14、15 日両日 …… 65
合計 …… 205

Q2　ご所属を教えてください。

都道府県立図書館 …… 36
市区町村立図書館・図書室 …… 112
学校図書館・学校教職員 …… 37
大学図書館・大学教職員 …… 3
その他図書館職員…… 2
教育委員会・行政機関 …… 6
その他…… 9
合計 …… 205

Q3　この研究集会をどこでお知りになりましたか。

都道府県立図書館（または地域の図書館協会等）からの情報提供……139
県立長野図書館ホームページ／SNS 等……19
JLA メールマガジン／ホームページ……13
市立図書館から……3
教育委員会から……2
所属先・上司から……10
同僚から……2
友人・司書仲間から……3
講師・登壇者・事務局から……13
会場掲示……1
合計……205

Q4　研究集会の内容について、ご意見ご感想等をお聞かせください。（一部抜粋）

- 非常に内容が濃く、大変満足しています。正直二日間では足りない予定でした。出来れば、県内の図書館を回りたかったですが、移動が非常に長かったので一館だけで終わってしまったのが残念。
- 本研究集会に初めて参加しました。大会テーマは館種をこえてどの図書館にも共通のものでたくさんの小テーマが含まれ時間が短いなと感じました。様々な情報（人を含む）が得られ今後の活動の

指針や方向性を考えることができました。大会運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

- とてもよかったです。子どもの読書について自分の中で確認したり、新たな視点が得られました。
- 基調講演、事例発表、分科会、の 3 つとも、とても勉強になった。良い内容だった。3 つともが、一貫して公共図書館として子ども達のために何ができるか、何をしなければいけないかを教えてくれたように思う。

Q5 研究集会の開催時期・開催方法について、ご意見・ご感想をお聞かせください。（一部抜粋）

- 適切な時期・方法であったと感じます。
- 年末の他の集会や研修とも被ることもあり調整が必要でしたが、より集中する秋よりはよかったと思います。また、久々の対面でしたが、やはり対面で得られる情報量は段違いでした。
- 開催時期について、インフルエンザ等の感染症流行時期であり情報交換会等も考えると、もう少し早い時期でも良いのかなと思いました。
- 県外の会場まで行くことが難しい中、オンラインでの受講ができたことが良かった。
- オンラインとリアル会場のどちらかを選択できてよかったです。
- ハイブリッド開催は、とても良いと思います。これからもこの形が続くと良いです。

Q6 基調講演、事例発表のご感想等をご記入ください。（一部抜粋）

- 人気の児童書作家である杉山氏のお話を聞けることがとてもありがたかった。内容もとても面白く、子どもたちになぜ読書が必要なのかを明確に言語化していただき、今後の図書館運営についてのヒントがたくさん得られた。
- 数々の体験の積み重ねから話していただいた内容は、とても具体的でわかりやすく、しかも「図書館」に限らずほかのことにも通じる大切なことだと感じました。
- もっと詳しく聞きたいくらいでした。情報活用の能力の指導など興味のある話題でした。
- 地域と連携しながら継続して行っている様々な活動を知ることができ、当室でも取り入れてみたいと思いました。地域性が感じられる素敵な事例でした。
- 非常によく整理された内容で、理論から実践へうまく繋がって腑に落ちる感じがありました。ユネスコの学校図書館宣言や、IFLA の様子など、海外の状況がどのようになっているのか知ることができたのも、身近な所を見ているだけでは突破できない壁があると思うので、とても良かったです。
- 学校図書館として生徒、教員、地域などに向き合いデジタル化を取り入れながらの基調講演や事例発表など私達が不安に思っている事に寄り添った内容で良かったと思います。
- 私は学校図書館なので、とても参考になる内容でした。GIGA スクール時代の図書館について改めて考える良い機会をいただきました。自分ももっとなにかできるかも！と刺激をいただきました。ありがとうございました。子ども読書支援センターの存在がうらやましいです。

Q7　参加した分科会を教えてください。

分科会１……28

分科会２……25

分科会３……14

Q8　分科会へ参加してのご感想等をご記入ください。（一部抜粋）

- （分科会１）分科会全部に参加したい内容でしたので、できなかったことが残念でしたが、最後に共有できる場を設けて頂き、感謝です。現場で奮闘する先生の一生懸命さに心を打たれました。先生の困ったを学校司書が、公共図書館が解決できる仕組みを私たちも地道に取り組みたいと思います。
- （分科会１）現場の先生の実際の授業で使える資料をプレゼンする、というのは初めての体験だった。公共図書館ではテーマに合った資料を探すことばかり考えがちだが、実際にどういう生徒・児童にどういう力を身に付けさせるための授業なのかを想定して資料を選ぶべきだと知るよい機会だった。
- （分科会２）前日の事例発表を更に深めた内容で大変良かったです。紹介していただいたツールは、帰宅後に早速使用しました。司書の武器は情報量、そしてそれを取り出すスピード。肝に銘じます。デジタル技術を活用することは悪いことではないのに、何故か図書館では本との対比で悪く言われがちなだと日頃から感じていました。現在の学校の状況を聞いて、図書館職員は自分の常識を打ち壊す時が来たんだなと思いました。私の子どもはまだ未就学児ですが、こんな学校（あるいはもっと進んだ学校）に通うことになるのかと、少し怖い気持ちにもなりました。同じ教育委員会の所属でも学校と県立図書館には物理的にも心情的にも距離があります。せめて心情的距離だけでも近づける方法がないかを、まずは考えてみようと思いました。
- （分科会２）子どもたちの一番身近にある学校図書館に、公共図書館として何ができるのか、何を望まれているのか、いろいろと考えながら、聞かせて頂いた。当たり前だが、公共図書館からいくら働きかけようとも、学校図書館に受け手となる人がいないとサービスが行き届くことはない。まずは学校図書館に人を置いてもらうところから声を上げていくことも必要なのかもしれない。ＧＩＧＡスクール構想下の学校授業を見てみたいと思った。
- （分科会３）バリューブックスさんの図書館や学校への支援は、売上にはつながりにくい部分でありながらも、業界を通じた社会貢献、特に子どもへのまなざしが尊敬すべきところだと感じました。本業あっての活動だと思いますので、図書館もそれに頼りきりにならず、柔軟な考え方で読書振興を進めていきたいと決意を新たにしました。
- （分科会３）バリューブックスさんの取り組みはとても意欲的で楽しく、図書館として一緒に何かできないかすごく夢が広がりました。限りある資源や予算の中で子ども達にたくさん本に触れる機会をつくっていきたいと思いました。

令和５（2023）年度　全国公共図書館研究集会
（児童･青少年部門）　報告書

令和６年８月発行

編集･発行　長野県図書館協会　令和５年度全国公共図書館研究集会
（児童･青少年部門）実行委員会

〒380-0928　長野県長野市若里 1-1-4　（県立長野図書館内）